

30年産情報



かみかみ蒸し豆



富山 今週に成熟期を迎えそうなコシヒカリは、籾数が105%と予想していますが、今後の気温がポイントで高温が続くと胴割れなど品質を懸念する声が聞かれます。

福井 早生品種のハナエチゼンが収穫をほぼ終えようとしています。品質的にはカメムシの被害や背白・腹白が散見される地域があったり、台風の影響で倒伏の被害があったり、品質・収量ともバラツキがあるようです。コシヒカリは今週から収穫が始まり予定です。

千葉 コシヒカリの収量が例年に比較して1俵程度少なめ(粒が小さい)であるという声が出ています。1俵と言えば1割弱の減収ということになります。今後の収穫進捗で明らかになってくると思われれます。

30年産 茨城あきたこまち(精米)

秋田県産のあきたこまちが出回るまで5kgのみ販売します。

30年産秋田減産が出たところで秋田県産にバトンタッチします。

29年産のあきたこまちはまだまだ継続して販売中です。

お米屋さんには明確な用事がないと気軽に入りにくいお店といわれます。お米という商品がそうさせているのだと思います。

覗くだけでもお店に来てほしいし、入ってきて手ぶらで帰りにくい心理をつけてちょっとした小物を用意してみませんか？

無添加で素材の旨味を生かした蒸し豆です。煮ると逃げてしまう栄養素もそのまま保持できています。見た目はチョット悪いですが、とってもホクホク美味しいです。

お料理の素材に、おやつに、おつまみに。

- かみかみ 大豆
- かみかみ ひよこ豆
- かみかみ 丹波黒大豆

各46g×10入り×4箱

ニッポンの種を守る動き

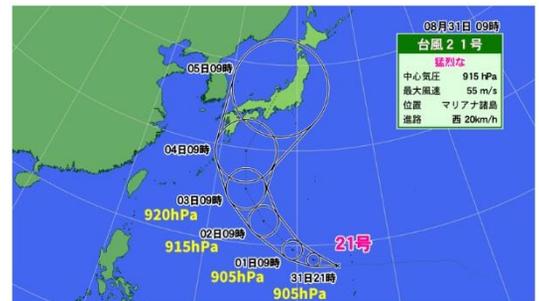
今年4月に廃止された「主要農作物種子法」に対して、兵庫県、新潟県、埼玉県各県では「主要農作物種子生産条例」を制定しこれまで通り穀物の種子を安く安定的に供給するために前年度並みの予算を付けることを決めました。この動きはその後徐々に拡大を見せ、この秋には山形県や長野県でも同様の条例ができそうです。今後も地域品種を守ろうとする都道府県が増えていくのでしょうか。

今週の玄米入荷情報

- 福島 コシヒカリ 中通
- 秋田 あきたこまち やまもと
- 岩手 ひとめぼれ 前沢限定
- 栃木 コシヒカリ
- 富山 コシヒカリ
- 青森 まっしぐら
- 佐賀 夢しずく 特別栽培
- 新潟 コシヒカリ 黒川
- =30年産=
- 千葉 コシヒカリ
- 千葉 ふさおとめ
- 茨城 コシヒカリ
- 茨城 あきたこまち

台風21号は今年最も強い勢力になって、秋台風コースをなぞるように上陸しそうです。この時期の台風は稲の収量に大きな影響

を与えることが多く、勢力が強いことで懸念材料が大きくなっています。東北のコメどころを通過するような進路予想に今後の進路から目が離せません。



台風21号の進路予報図(ウェザーマップ)